

地球惑星科学科3年生の皆様

「地球惑星科学セミナーI」実施要領（2020年度）

## セミナーの実施方法について

### 1. 目的

本セミナーは、科学英語を読み、その内容を理解し、説明できる能力を養うものである。また、あるテーマについて、関連書物や論文などを読み進め、より深く内容を理解する能力を養うものである。さらに理解した内容をわかりやすくまとめ、プレゼンテーションやレポートにする力をつけることを目的とする。

### 2. 授業形態

第1週（10/8）：イントロダクション（全担当教員出席、各班）

第2-10週（10/15 – 12/10）：教科書輪読（英文読解の基礎養成）（9週）

教科書：Understanding Earthを統一教書とする。学生には地球惑星科学教室で購入したものを貸与する。

各分野の教員1名が3回担当し、3分野の教員が担当する。輪読する章は各班で異なる。3回で一章を終わる程度で進め、英語読解の基礎力をつける。毎回、学生は教科書の指定部分を十分に読解すること。

- ・第9週に後半のプレゼンテーションの題材候補（基本的な英語論文、他の教科書の一部など）が提示されるので、学生はどれを選択するか1週間考える。
- ・第10週に学生は題材を決定する。題材は班の中で重複しないよう調整する。
- ・第10週（12/10）と第11週（1/14）の間に、題材提供教員の間接指導日を設けるので、それまでに読んだ内容について、理解度を確認し、より理解が深まるようにする。
- ・第11-12週（1/14, 1/21 の2週）：第10週に選択した題材について、精読してまとめ、発表する（各学生1回発表）（全担当教員出席、各班）  
第11週にまとめのレポート（A4で4枚以内、図を含む）も同時に仮提出する。。なお、プレゼンテーションの内容が合格に達していない者は、第13週（1/27）に再発表を行う。

仮提出されたまとめのレポートは教員が内容を吟味し、コメントをつけて返却する。学生は、つけられたコメントとプレゼンテーションの際に出たコメントをあわせてまとめのレポートを修正・改善し、最終提出する。

3. 成績評価：「出席、学習態度、プレゼン、レポートをそれぞれ25点満点で評価し、総点が90点以上かつ上位3名までをS評価、80点以上でS評価でないものをA評価、70-79点をB評価、60-69点をC評価とする。」

#### 4. 新型コロナウイルス感染予防について

- 本セミナーは演習となりますので、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）における名古屋大学の活動指針 具体的な活動指針 1. 教育（講義・演習、実験・実習）の、レベル(下記参照)が0から3までは、感染防止策を徹底の上、可能な限り「講義室において対面」で行います。レベル4および5では、「ICTを使った遠隔授業」となります。ただし各班の担当教員の指示に従ってください。
- 感染防止策として、
  - ・ 1 教室当たりの上限人数は、教室の定員人数の半分、かつ、座席は四方をあけて着席すること。
  - ・ 30分から40分ごとに休憩、部屋の換気、マスク着用・実施後の手洗い等の感染防止策を徹底する。
- 対面授業時に登校できないがオンラインで参加可能な時は、授業日前日の午後5時まで（やむを得ず当日の場合には午前8時まで）に、ガイダンス時に示される担当班の教員の連絡先に申し出ること。
- 遠隔授業時の受講方法は、担当班の教員の指示に従うこと。

## 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)における名古屋大学の活動指針

### 具体的な活動指針

#### 1. 教育（講義・演習と実験・実習）

##### レベル:0

活動状態：通常通り

##### レベル:1

活動状態：感染防止措置の上、

講義・**演習**の実施（対面授業を行う場合は人数を限定の上で実施）

実験・実習の実施（対面授業を行う場合は人数を限定の上で実施）

ICTを使った遠隔授業の積極的併用

アクセスポイント提供

##### レベル:2

活動状態：感染防止措置の上、

講義・**演習**の実施（原則としてICTを使った遠隔授業で実施。例外として対面授業を行う場合は人数を限定の上で実施）

実験・実習の実施（対面授業を行う場合は人数を限定の上で実施）

アクセスポイント提供

##### レベル:3

活動状態：感染防止措置の上、

講義の実施（対面授業は行わず、ICTを使った遠隔授業のみ実施）

**演習**の実施（原則としてICTを使った遠隔授業で実施。例外として少人数や教育効果の観点で必要な場合は対面授業実施可）

実験・実習の実施（対面授業を行う場合は人数をレベル2以上に限定の上で実施）

アクセスポイント提供

##### レベル:4

活動状態：感染防止措置の上、

講義の実施（対面授業は行わず、ICTを使った遠隔授業のみ実施）

**演習**の実施（対面授業は行わず、ICTを使った遠隔授業のみ実施）

実験・実習の実施（できるだけ対面授業は実施せず他の方法によることができない場合のみ対面実施可）

アクセスポイント提供

##### レベル:5

活動状態：ICTを使った遠隔授業のみ実施

アクセスポイント閉鎖（受講できない学生には教育上の配慮を実施）